

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	環境 課 環境 係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号） 172 】
第4次総合計画の 該当項目	2節2項 快適で安心して暮らせるまちづくり

業務の名称	環境マネジメントシステムに関する業務		
(1) 根拠法令・条例	長久手町環境基本条例		
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>12.0</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>90</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u> </u> 人・日)		
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>740</u> 千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))		
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	<u>0.0</u> % (平成20年度実績)		
(5) 業務期間	開始した年度	13年度	終了 (予定) 年度 年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

①業務目的 (達成目標)	事務事業や行政サービスが環境に及ぼす影響を把握、評価、是正するとともに、継続的な改善活動を行うことによって、良好な環境保全を実現する。 また、町長が定める環境方針を具体化し、取り組みを達成していく。						
②業務が対象とする住民 (地域、層)	町の業務に従事する町職員と教職員を対象とし、住民は対象としていないが、公共施設での省エネルギー・省資源等の取り組みを推進していく中で、住民にご理解ご協力をいただく必要がある。						
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	①省エネルギー・省資源の推進 ②廃棄物の削減 ③グリーン購入の推進 ④環境法令の順守、環境保全の実施等						
④業務の実施結果 (平成20年度実績)	定期審査を受け、新たに新設した長久手町青少年児童センターと市ヶ洞小学校の認証を取得した。 【業務結果の説明指標】						
	結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
	1	ISO14001 認証取得施設数	44	46	49	51	全施設
	2	グリーン購入率 (%)	88.6	93.4	94.0	97.4	100
	3	もえるごみ排出量 (袋)	3,931	3,744	4,009	4,462	4,000
	4	環境目標の達成状況 (%)	約70	95.9	96.9	95.9	100
	5						

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

- ・事務のみの課等と環境に及ぼす負荷の多い施設等では、報告書等の作成量に差がある。
- ・毎年、認証取得を維持するのに費用がかかる。
- ・職員の環境に対する意識は浸透してきたが、さらなる高揚につなげていくにはどうしていくべきか。
- ・ISOと地球温暖化対策の推進に関する法律 (温室効果ガスの削減) やエネルギーの使用の合理化に関する法律 (エネルギー使用量の削減) をどのようにリンクさせていくか。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
施設数が増大してきているため総エネルギー使用量や燃えるごみの量は増えているが、主なエネルギー使用量(電気・都市ガス・LPG・A重油)の二酸化炭素排出量をISO認証取得前の平成12年度と19年度と同じ施設で比較した場合6.15%の削減ができた。	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	1点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	2点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	1点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	2点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	1点
2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.5点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none"> ① 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続(業務の拡大) 3. 見直して継続(業務の縮小) 4. 見直して継続(方法の改善) 5. 見直して継続(他業務と統合) 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	町が事業者としての環境保全の取り組みを適切に実行する手段としている。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
①改善目標	今後も、環境基本計画に基づき環境配慮施策を推進していく。 今後のISO認証の継続について、独自の取り組みを含め検討していく。
②改善時期	平成21年度の定期審査終了後に、環境管理委員会(部長以上で組織)を開催し検討する。
③改善方法	同上